

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	壬生町	地域再生計画名	壬生町「次の未来へ「甦れ清流」ふるさとみぶ再生計画」
計画期間	平成31年度～令和5年度	評価責任者	壬生町 建設部長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	町全域の汚水処理人口普及率の向上	91.2%	H30	91.7%	R2	91.9%	94.6%	R5	92.1%	×	3 1 ×	集合処理の整備や農業集落排水への接続及び合併浄化槽の設置により、単独処理浄化槽使用人口は減少しました。しかし、行政内区域人口の減少とともに、公共下水道や農業集落排水を使用している人口が減少しているため、汚水処理人口普及率はほぼ横ばいとなっております。
	指標 2	単独処理浄化槽使用人口の減少	1,607人	H30	1,517人	R2	1,498人	1,367人	R5	1,266人	○		生活環境改善のため、町の合併浄化槽設置費補助金制度による合併浄化槽への設置・切り替えを推進してきた結果、目標値を達成することができました。
	指標 3	農家人口減少の抑制	3,406人	H30	3,368人	R2	2,695人	3,324人	R5	2,695人	×		農村地域の下水道である農業集落排水の整備を推進してきましたが、全国的に少子高齢化による人口減少が進み、農村部では離農等による後継者不足の状態です。目標値は基準となる農家人口を農業センサスから設定しており、センサス以外では農家人口を把握していないため、最終実績は令和2年の農業センサスの実績値となっております。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1												
	指標 2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（H・R）	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	農業集落排水事業旭町・星の宮地区	管路 9279m マンホールポンプ場 5箇所 処理場 1箇所	管路 3460m	管路 9279m マンホールポンプ場 5箇所 処理場 1箇所	5か年の事業期間の中で、車がすれ違うことも難しい幅員の狭い道路が多い地域でしたが、管渠施設の埋設、マンホールポンプ場及び処理場を整備する事業を、地域住民の理解と協力により、順調に工事を行うことができ、完了させることができました。								
	浄化槽（個人設置型）	150基	51基	87基	生活環境改善を目的とし、下水道及び農業集落排水の計画区域を除く地域へ、合併処理浄化槽の普及促進を図った。計画目標を達成することはできませんでしたが、単独処理浄化槽を使用している人口を年々減少させることができた。引き続き、町の補助制度による合併浄化槽への設置・切り替えを推進し、単独処理浄化槽使用人口の削減を図って行きます。								
その他の事業	空家対策事業	空家バンクによる定住促進を図る			町の空家バンクの情報を広報誌及び町ウェブページなどで発信することで、空家を所有する方及び空家を利用希望する方の登録は毎年一定数ありました。これからも空家バンク等を有効活用し、高齢者や子育て世代への住替え支援及び移住定住の促進による地域の活性化を図って行きます。								
	ふるさと応援寄付金	ふるさと応援寄付金のお礼として地域の農産物等を利用する			町の発展のために多くの方々からいただいた寄付を活用させていただき、町の農産物をお礼の品の一部としたことで、寄付された方からは喜ばれ、農産物の地域ブランドとして町の認知度・魅力度の向上に寄与しました。								
	担い手規模拡大推進事業	新規就農者や認定農業者を支援する			新規就農する若者や認定農業者の安定的な営農を実現するための支援を目的として、農業次世代人材投資資金やアグリサポート事業などといった支援事業を実施し、毎年一定の成果を得ることができました。								
計画外で独自に実施した事業													
④評価方法	壬生町企画委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行いました。												
⑤事後評価の公表方法	壬生町公式ウェブサイトにて掲載します。												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理整備交付金を活用し、農業集落排水事業の新規地区整備と合併浄化槽（個人設置型）の整備を一体的に推進しながら、単独処理浄化槽使用人口を減少させることで、特に農村地域において良好な生活環境の整備や水質保全につながる基盤を作ることができました。町の生活排水処理構想に基づき汚水処理施設の整備を推進するとともに、町独自の関連する事業を推進することで人口減少の抑制、移住・定住の促進を図って参りましたが、町人口減少の抑制の数値目標には届きませんでした。												
⑦今後の方針等	農業集落排水事業については、町の生活排水処理構想で整備地区と位置づけた最後の地区を計画に基づき整備を完成させることができたため、今後は、旭町・星の宮地区で農業集落排水への接続が進めば、地区内の水質保全や農村地域の生活環境の改善が図られるので、早期に接続してもらえるよう推進していきます。合併浄化槽（個人設置型）については、町の広報誌やウェブサイト等により、合併浄化槽設置補助金制度などを周知しながら設置・切り替えを推進していきます。引き続き、生活環境の改善や水質の保全の重要性を周知し、汚水処理人口普及率が向上するよう推進していきます。												